

沖縄県がん診療連携協議会
発表資料

がん対策の進捗確認のための
ロジックモデルに対応した指標集
＜沖縄県部分の確認＞

2021年5月7日

埴岡健一



特定非営利活動法人 がん政策サミット

当NPO法人は、予定の事業を完了し、2021年3月19日に活動を終了いたしました。
これまでご支援、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
本サイトの内容は、営利目的の販促物等への引用掲載等を除き、どなたでもご利用いただけます。販売は禁じます。
利用した論文・記事・資料等には、「特定非営利活動法人がん政策サミット」と出典を明記してください。

計画評価用データ集

HOME > がん対策地域別データ集 > 計画評価用データ集

 計画評価用データ集 (Exel:1.48MB)

■ 趣旨

地域の方々が都道府県計画を（中間）評価する際に、アウトカムベースのインパクト評価を行うことを支援するために、ロジックモデルに対応した指標に関し、実際のデータを取りそろえたものです。

ロジックモデルも指標の選択も一例ですので、必要に応じて修正するなどして、ご活用いただければ幸いです。がん政策サミット2020開催時に「がんの早期発見・がん検診」「医療提供体制」の2分野について作成しましたが、10分野に拡張すると同時に、既存の2分野も再整理しました。

ロジックモデルは、2020年6月15日に公開した「いいとこ取りロジックモデル」をベースにしています。データは、がん対策地域別データ集から抜き出しました（一部、追加しています）。

<https://cpsum.org/ccm/evaluationlm>

■ 出典

がん対策地域別データ集の、下記の8つの表からデータ数値を抜き出しています。
元の情報源については、各表の「出典情報」シートをご覧ください。
がん診療行為データ集に含まれているNDB-SCR項目以外も、一部、追加しています。

1. 肺がんデータ集 Ver.5.0.1
2. 大腸がんデータ集 Ver.5.0.1
3. 乳がんデータ集 Ver.5.0.1
4. 胃がんデータ集 Ver.5.0.1
5. 全がんデータ集 Ver.5.0.1
6. 医療一般データ集 Ver.5.0.1
7. がん診療行為データ集 Ver.5.0.1
8. 患者体験調査データ集 Ver.5.0.1

■ 注意点

出典各表の「はじめに」にある使用時の留意点を必ずご確認ください。

出典各表の「出典情報」の欄外注記や備考欄を必ずご確認ください。

出典各表の「出典情報」の著作権、利用の際のルール、免責事項を必ずご確認ください。

探した指標が「痛みがある」であるにも関わらず見つかった指標が「痛みがない」であるように、方向が逆転している指標が8個あります。「痛みがない」のように下線を引いて注意喚起しています。

この場を借りてのお礼：

NPO法人がん政策サミットは、予定の事業を完了し、
2021年3月19日に活動を終了いたしました。
これまでご支援、ご協力いただいたみな様に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

趣旨①計画評価用データ集の構成

- 都道府県がん対策推進計画の分野立てに沿って、
- ロジックモデル・施策体系図に沿って、
- 分野別の分野アウトカム、中間アウトカムに関して、
- 総合評価方式（プログラム評価）に沿って、
- インパクト評価（効果評価）をするために、
- 必要となる指標をパッケージセットとして取り集めてある

趣旨②掲載対象分野

①1次予防

②早期発見

③医療提供体制

④4療法

⑤チーム医療

⑥がんゲノム医療

⑦緩和ケア

⑧相談支援・情報提供

⑨在宅医療

⑩就労支援・社会的問題

趣旨③仕様のポイント

- 47都道府県別にデータを呼び出せる
- 早期発見、医療提供体制、在宅医療分野は、医療圏単位も見る事ができる
- 1次予防、早期発見、医療提供体制は、大腸がん、肺がん、胃がん、乳がんの4つの部位別にみる事ができる
- 4療法、在宅医療の分野では、標準化レセプト出現比（NDB-SCR）を選択できる

趣旨④本日例示するデータ

- ここでは**10**分野別に沖縄県に関して**1**シートずつ例示した
- 数値上パフォーマンスが悪い可能性がありえる数値にマーキングをした
- 実際にパフォーマンスの問題があるとは限らないが、確認が必要な部分を同定した上で、作業をすることが有益である可能性がある

趣旨⑤活用に向けて

- 当連携協議会では、前回と今回、それぞれ2分野についてロジックモデルとデータを活用した進捗管理の作業が行われたが、このデータも同様の趣旨である
- 当連携協議会の審議事項で示されたデータの方が詳細な部分がある
- この資料で示したデータは、同じかたちで47都道府県ヨコ比較をすることが、現時点でできることから、ご紹介した

以下、資料

がんの一次予防

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

▼がん種別を選択してください（必須）

大腸がん

施策

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・

中間アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県

成人喫煙者が減っている				
01-M01	成人喫煙率			
	全がん44	喫煙率（男）（％）	28.8	31.7
	全がん45	喫煙率（女）（％）	8.8	14.9

20歳未満の喫煙がなくなっている				
01-M02	20歳未満喫煙率			
	-	-	NA	NA
01-M03	妊娠中の喫煙率			
	-	-	NA	NA

最終アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県

がんの死亡者を減らす				
01-F01	部位別年齢調整死亡率			
	大腸がん13	大腸がん：死亡率（男）（％）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	12.9	14.4
	大腸がん14	大腸がん：死亡率（女）（％）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	7.3	8.2
	大腸がん17	大腸がん：標準化死亡比（男）	100.0	107.7
01-F02	年齢調整死亡率			
	全がん13	死亡率（男）（％）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	88.6	99.8
	全がん14	死亡率（女）（％）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	56.0	66.1
	全がん17	標準化死亡比 悪性新生物 総数 男性	100.0	109.9

施策を記入する

望まない受動喫煙のない社会が実現している				
01-M04	受動喫煙率			
	-	-	NA	NA

施策を記入する
 施策を記入する

国民の生活習慣が改善している				
01-M05	ハイリスク飲酒率			
	全がん47	ハイリスク量の飲酒（男）（％）	15.0	NA
	全がん48	ハイリスク量の飲酒（女）（％）	8.7	NA
01-M06	運動習慣率			
	全がん51	歩数（男）（歩）	7,779.2	7,380.8
	全がん52	歩数（女）（歩）	6,776.5	6,050.9
01-M07	適正体重率			
	-	-	NA	NA
01-M08	塩分摂取量			
	-	-	NA	NA

全がん18	標準化死亡比 悪性新生物 総数 女性	100.0	110.8
-------	--------------------	-------	-------

がんの罹患者を減らす				
11-F03	部位別年齢調整罹患率			
	大腸がん21	大腸がん：罹患率（男）（年齢調整、人口10万人対）	74.2	79.8
	大腸がん22	大腸がん：罹患率（女）（年齢調整、人口10万人対）	44.7	48.2
11-F04	年齢調整罹患率			
	全がん24	罹患率（男）（年齢調整、人口10万人対）	454.3	484.6
	全がん25	罹患率（女）（年齢調整、人口10万人対）	342.5	365.0

01-M09	果物・野菜摂取量			
	全がん49	野菜摂取量（男）（g）	284.2	275.6
	全がん50	野菜摂取量（女）（g）	270.0	279.8
01-M10	果物・野菜の接種不足率			
	-	-	NA	NA

施策を記入する
施策を記入する

・
・
・

肝炎等の早期発見・早期発見ができていない				
01-M11	（参考指標）B型C型肝炎ウイルス感染率			
	-	-	NA	NA
01-M12	（参考指標）B型C型肝炎ウイルス検査受検率			
	-	-	NA	NA
01-M13	（参考指標）B型肝炎定期予防接種実施率			
	-	-	NA	NA
01-M14	（参考指標）ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染率			
	-	-	NA	NA

がんの早期発見およびがん検診

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

▼二次医療圏を選択してください（任意）

南部

▼がん種別を選択してください（必須）

大腸がん

施策

施策を記入する
施策を記入する
・
・
・

施策を記入する
施策を記入する
・
・
・

施策を記入する
施策を記入する

中間アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部

科学的に有効性が確立された検診のみが実施される				
02-M01	指針順守市町村率			
	大腸がん70	大腸がん：指針に基づく検診の実施状況 実施した市区町村割合（％：対回答市区町村）	100.0	100.0
02-M02	指針非順守市町村率			
	大腸がん78	大腸がん：指針に基づく検診の実施状況（集団） 指針に基づく検診項目以外を実施（％：対実施市区町村）	6.4	2.4

精度の高いがん検診が実施されている				
02-M03	陽性反応的中率等			
	大腸がん58	大腸がん：検診 がん発見率（男）（％）	0.32	0.27

最終アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部

がんが早期に発見される					
02-F01	早期がん（限局）の割合等				
	大腸がん29	大腸がん：臨床進行度分布 2015年 限局（％）	43.6	41.8	NA
	大腸がん30	大腸がん：臨床進行度分布 2015年 領域（％）	28.4	30.7	NA
	大腸がん31	大腸がん：臨床進行度分布 2015年 遠隔（％）	18.2	20.0	NA
大腸がん32	大腸がん：臨床進行度分布 2015年 不明（％）	9.8	7.4	NA	

がんによる死亡者が減る				
02-F02	年齢調整死亡率等			

	大腸がん59	大腸がん：検診 がん発見率（女）（%）	0.17	0.07	0.07
	大腸がん60	大腸がん：検診 陽性反応の中率（男）（%）	3.45	2.97	2.73
	大腸がん61	大腸がん：検診 陽性反応の中率（女）（%）	2.75	1.17	1.00
	大腸がん64	大腸がん：検診 要精検率（男）（%）	9.3	9.0	9.7
	大腸がん65	大腸がん：検診 要精検率（女）（%）	6.3	6.3	6.9
02-M04	事業評価実施率				
	大腸がん88	大腸がん：住民検診（集団） 都道府県用チェックリスト実施率（%：2018年）	68.2	78.7	NA
	大腸がん89	大腸がん：住民検診（個別） 都道府県用チェックリスト実施率（%：2018年）	62.7	78.7	NA

	大腸がん13	大腸がん：死亡率（男）（%）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	12.9	16.6	NA
	大腸がん14	大腸がん：死亡率（女）（%）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	7.3	6.7	NA
	大腸がん17	大腸がん：標準化死亡比（男）	100.0	111.2	NA
	大腸がん18	大腸がん：標準化死亡比（女）	100.0	91.4	NA
	大腸がん23	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	72.4	70.2	NA
	大腸がん24	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	70.1	69.5	NA

施策を記入する
施策を記入する

住民が検診を受けている					
02-M05	対策型検診受診率				
	大腸がん66	大腸がん：検診 受診率（男）（%）	5.7	6.5	6.1
	大腸がん67	大腸がん：検診 受診率（女）（%）	10.5	9.8	10.2
02-M06	職域検診受診率				
	-	-	NA	NA	NA

02-M07	検診受診率				
	大腸がん 68	大腸がん：検診 受診率（男） （％）〔国民生活基礎調査〕	45.2	38.2	NA
	大腸がん 69	大腸がん：検診 受診率（女） （％）〔国民生活基礎調査〕	37.6	34.9	NA
02-M08	精密検査受診率				
	大腸がん 62	大腸がん：検診 精検受診率（男） （％）	67.2	57.0	57.0
	大腸がん 63	大腸がん：検診 精検受診率（女） （％）	69.9	59.0	58.9
	参考指標 コール・リコール実施率				
	大腸がん 74	大腸がん：指針に基づく検診の実施 状況 個別受診勧奨を実施（％：対 実施市区町村総数）	85.2	70.7	NA
	大腸がん 75	大腸がん：指針に基づく検診の実施 状況 未受診者への再勧奨を全員あ るいは一部で実施（％：対個別受診 勧奨実施市区町村総数）	44.7	34.1	NA

医療提供体制

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

▼二次医療圏を選択してください（任意）

南部

▼がん種別を選択してください（必須）

大腸がん

施策

施策を記入する

施策を記入する

・

・

・

施策を記入する

施策を記入する

中間アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部

拠点病院等の質の格差が解消されている				
03-M01	標準的治療の実施割合（Quality Indicatorから）			
	-	-	NA	NA
	参考指標			
	大腸がん 104	大腸がん：拠点病院カバー率	63.8	30.9

患者が適切な意思決定支援を受けられている				
03-M03	十分な情報をもって治療を始められた患者の割合			
	患者5	十分な情報をもって治療を始められた患者の割合	75.2%	71.4%

最終アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部

がん患者がどこに住んでいても、切れ目なく安全、安心、適切な医療を受けられている					
03-F01	5年生存率				
	大腸がん23	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	72.4	70.2	NA
	大腸がん24	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	70.1	69.5	NA
	大腸がん33	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 限局（男）（%）	97.1	96.0	NA
	大腸がん34	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 領域（男）（%）	75.7	75.2	NA
	大腸がん35	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 遠隔（男）（%）	18.2	14.8	NA
	大腸がん37	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 限局（女）（%）	97.5	94.4	NA
	大腸がん38	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 領域（女）（%）	74.8	73.1	NA

03-M05	医療スタッフと十分な対話ができなかった患者・家族の割合				
	患者11	医療スタッフと十分な対話ができなかった患者・家族の割合	67.8%	70.6%	NA
03-M07	担当医からセカンドオピニオンについて話があった患者の割合				
	患者4	担当医からセカンドオピニオンについて話があった患者の割合	34.8%	28.4%	NA
	参考指標				
	NDB-SCR262	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）入院	100.0	86.3	147.7
	NDB-SCR263	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）外来	100.0	78.2	84.3
	NDB-SCR264	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）入院+外来	100.0	80.2	99.7

	大腸がん39	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 遠隔（女）（%）	16.2	14.6	NA
03-F03	これまでの治療に納得している患者の割合				
	患者15	これまでの治療に納得している患者の割合	77.4%	85.4%	NA
03-F05	がんの診断・治療全体の総合的評価				
	患者20	がんの診断・治療全般に関する総合的な評価が高い患者の割合	71.2%	79.7%	NA

施策を記入する
施策を記入する

切れ目のない治療等を受けられている					
03-M09	クリティカルパスの運用数				
	NDB-SCR234	がん治療連携計画策定料1 入院	100.0	NA	NA
	NDB-SCR235	がん治療連携計画策定料1 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR236	がん治療連携計画策定料1 入院+外来	100.0	NA	NA
03-M11	紹介先の医療機関を支援なく受診できた患者の割合				

	患者16	紹介先の医療機関を支障なく受診できた患者の割合	83.4%	80.9%	NA
03-M13	希望する転院先に転院できた患者の割合				
	患者17	希望する転院先に転院できた患者の割合	79.2%	85.7%	NA
03-M15	必要な介護支援について説明を受けた患者の割合				
	-	-	NA	NA	NA
	参考指標				
	NDB-SCR237	がん治療連携指導料 外来	100.0	133.0	262.5
	NDB-SCR239	外来がん患者在宅連携指導料 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR240	地域連携診療計画加算（診療情報提供料1） 外来	100.0	NA	18.2
	NDB-SCR241	看取り加算（在宅患者訪問診療料（1）1・（2）イ・往診料） 外来	100.0	76.1	83.0
	NDB-SCR242	在がん医総（機能強化した在宅診療等）（病床あり）（処方箋あり） 外来	100.0	8.6	17.3
	NDB-SCR244	在がん医総（機能強化した在宅診療等）（病床なし）（処方箋あり） 外来	100.0	NA	NA

手術療法・放射線療法・化学療法・免疫療法の充実

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策	中間アウトカム			
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
	【手術療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている			
施策を記入する	04-M01	標準的治療の実施割合（Quality Indicatorから）		
施策を記入する	-	-	NA	NA
・				
・				
	04-M02	標準的治療の実施数（NDB-SCRから） ▼項目名を選択してください（必須）		
	NDB-SCR20	手術療法（大腸がん）：直腸腫瘍摘出術（経肛門）入院	100.0	134.4
	04-M03	術後30日死亡率		
	-	-	NA	NA
	04-M04	定型的な術式での治療が困難ながんに対応できる医療機関の数		
	-	-	NA	NA
	【放射線療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている			

最終アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	
がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている				
04-F01	5年相対生存率			
全がん26	全がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	62.0	57.5	
全がん27	全がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	66.9	69.6	
肺がん23	肺がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	29.5	21.4	
肺がん24	肺がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	46.8	41.5	
大腸がん23	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	72.4	70.2	
大腸がん24	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	70.1	69.5	
胃がん23	胃がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（%）	67.5	63.9	
胃がん24	胃がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	64.6	65.4	
乳がん16	乳がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（%）	92.3	91.9	

施策を記入する
施策を記入する

・
・
・

04-M05	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M06	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから) ▼項目名を選択してください (必須)			
	NDB-SCR66	放射線：放射線治療病室管理加算入院	100.0	NA

施策を記入する
施策を記入する

・
・

【薬物療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている				
04-M07	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M08	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから) ▼項目名を選択してください (必須)			
	NDB-SCR42	薬物療法：抗悪性腫瘍剤処方管理加算 (処方料) 外来	100.0	61.6
04-M09	標準的治療の実施数 (薬剤使用量のNDB-SCRから)			
	-	-	NA	NA
04-M10	外来薬物療法が安全に実施されている割合			
	-	-	NA	NA
04-M11	薬物療法が内科医により実施されている割合			
	-	-	NA	NA
04-M12	薬物療法について十分な説明を受けている患者の割合			

04-F02	治療に納得している患者の割合			
	患者15	これまで受けた治療に納得している患者の割合	77.4%	85.4%
04-F03	治療スケジュールに見通しが立っている患者の割合			
	患者9	治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた患者の割合	75.9%	83.3%
04-F04	診断・治療全体の総合評価が高い患者の割合			
	患者20	がんの診断・治療全般に関する総合的な評価が高い患者の割合	71.2%	79.7%
04-F05	がん医療が進歩していると感じている患者の割合			
	患者22	一般の人が受けられるがん医療は推年前と比べて進歩したと感じる患者の割合	38.6%	27.2%

NDB-SCR39	がん患者指導管理料（医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明）入院	100.0	29.4
NDB-SCR40	がん患者指導管理料（医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明）外来	100.0	60.7
NDB-SCR41	がん患者指導管理料（医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明）入院+外来	100.0	60.4

施策を記入する
施策を記入する

・
・
・

【免疫療法】標準的な治療が質が高く安全に実施されている				
04-M13	標準的治療の実施割合（Quality Indicatorから）			
	-	-	NA	NA
04-M14	標準的治療の実施数（NDB-SCRから）			
	NDB-SCR197	PD-L1タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 入院	100.0	81.1
	NDB-SCR198	PD-L1タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 外来	100.0	49.2
	NDB-SCR199	PD-L1タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 入院+外来	100.0	61.1
04-M15	標準的治療の実施数（薬剤使用量のNDB-SCRから）			
	-	-	NA	NA
04-M16	免疫療法に対する都道府県民の正しい理解			
	-	-	NA	NA

チーム医療の推進

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・
 ・

施策を記入する

中間アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県

がんサポートが実施され、患者に応じた医療が提供されている				
05-M01	がんサポートで治療方針が決定された割合			
	-	-	NA	NA
05-M02	がんサポート開催数			
	-	-	NA	NA

チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている				
05-M03	リハビリテーションを受けた患者の割合			

最終アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県

全人的なサポートを行う「トータルケア」の提供が受けられている				
05-F01	治療に納得している患者の割合			
	患者15	これまで受けた治療に納得している患者の割合	77.4%	85.4%

副作用・合併症・後遺症により、患者とその家族の生活の質が低下していない				
05-F02	副作用の予測ができていない患者の割合			
	患者10	治療による副作用の予測などに関し見通しを持たない患者の割合	63.0%	70.5%

施策を記入する

- ・
- ・
- ・

	NDB-SCR149	がん患者リハビリテーション料 入院	100.0	122.8
05-M04	支持療法を受けた患者の割合			
	-	-	NA	NA
05-M05	医療者間で情報共有されていた患者の割合			
	患者13	治療に関する医療スタッフ間で十分に患者に関する情報共有がなされていたと思う患者の割合	68.8%	77.3%
05-M05	主治医以外に相談しやすいスタッフがいた患者の割合			
	患者14	主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいたと思う患者の割合	48.8%	53.7%

がんゲノム医療

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・
 ・

施策を記入する
 ・
 ・
 ・

中間アウトカム				
指標番号	項目番号	指標	全国	沖縄県

都道府県内でどこに住んでいてもゲノム医療を受けられる体制になっている				
06-M01	遺伝子パネル検査数			
	-	-	NA	NA
06-M02	遺伝性腫瘍カウンセリング加算			
	-	-	NA	NA

都道府県民が安心してがんゲノム医療に参加できる環境の整備が整う				
06-M03	ゲノム医療を知っている患者の割合			
	患者27	ゲノム情報を活用したがん医療について知っている患者の割合	18.3%	12.5%

最終アウトカム				
指標番号	項目番号	指標	全国	沖縄県

患者が個々のゲノム情報に基づき、最適な医療を受けられている				
06-F01	-			
	-	-	NA	NA

ゲノム情報に基づく適切な薬、治療法が開発される（国）				
06-F02	-			
	-	-	NA	NA

がんと診断された時からの緩和ケアの推進

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策	中間アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	
	希望する場所で、すべてのがん患者と家族が緩和ケアを受けられる【体制】				
施策を記入する	07-M01	望んだ場所で過ごせた患者の割合			
施策を記入する	-	-	NA	NA	
・	07-M02	がん性疼痛緩和指導管理料			
・		NDB-SCR251	がん性疼痛緩和指導管理料 入院	100.0	86.9
・		NDB-SCR252	がん性疼痛緩和指導管理料 外来	100.0	69.4
・		NDB-SCR253	がん性疼痛緩和指導管理料 入院+外来	100.0	76.1
	07-M03	がん患者指導管理料（心理的不安軽減）			
		NDB-SCR254	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接） 入院	100.0	101.9

最終アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している				
	07-F01	身体的痛みがある患者の割合		
		患者33	がんやがん治療に伴う身体の苦痛がないと感じる患者の割合	56.1%
	07-F02	治療に伴う痛みがある患者の割合		
		患者34	がんや治療に伴う痛みがないと感じる患者の割合	71.9%
	07-F03	精神的痛みがある患者の割合		
		患者35	がんやがん治療に伴い気持ちが <u>つらくない</u> と感じる患者の割合	62.1%
	07-F04	身体的・精神的痛みで生活に困難を抱えている患者の割合		
		患者36	身体的・精神的痛みで生活に困難を <u>抱えていない</u> 患者の割合	69.5%

	NDB-SCR255	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接） 外来	100.0	60.9
	NDB-SCR256	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接） 入院+外来	100.0	70.9
07-M04	外来緩和ケア管理料			
	NDB-SCR257	外来緩和ケア管理料 外来	100.0	NA
07-M05	緩和ケアチーム対応患者数			
	全がん83	病院 緩和ケアチーム有 患者数（人：1カ月実績）（人口10万対）	23.6	14.2
07-M06	緩和医療専門医			
	全がん200	がん拠点病院 緩和医療専門医（人：常勤換算）	0.08	0.00★
07-M07	緩和ケア認定看護師			
	全がん206	がん拠点病院 緩和ケア認定看護師（人：常勤換算）	0.58	0.21★

★印は人口10万人対を計算して表示しています

07-F05	緩和ケアで症状が改善したと思う患者の割合			
	-	-	NA	NA

施策を記入する
施策を記入する

迅速かつ適切な緩和ケアが受けられる【質】				
07-M08	速やかな対応を受けた患者の割合			
	患者12	つらい症状にはすみやかに対応してくれたと思う患者の割合	74.1%	80.1%

07-M09	痛みや苦痛に対する支援が十分であると思う患者の割合			
	患者32	身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると感じる患者の割合	42.5%	43.5%
07-M10	痛みの評価（スクリーニング）を受けた割合			
	患者18	受診時に必ず痛みの有無について聞かれた患者の割合	65.1%	72.0%
07-M11	身体的な痛みを相談しやすい割合			
	患者29	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	45.6%	48.2%
07-M12	心の痛みを相談しやすい割合			
	患者30	心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	31.9%	37.1%
07-M03	がん患者指導管理料（心理的不安軽減）			
	NDB-SCR254	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接）入院	100.0	101.9
	NDB-SCR255	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接）外来	100.0	60.9
	NDB-SCR256	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接）入院+外来	100.0	70.9

相談支援および情報提供

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・

中間アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	
患者やその家族が、医療者から十分な情報を得られている				
08-M01	治療前に医療者から十分な情報を得られた患者の割合			
患者5	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.2%	71.4%	
08-M02	治療のスケジュールに見通しが持てた患者の割合			
患者9	治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた患者の割合	75.9%	83.3%	
08-M03	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）			
NDB-SCR262	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）入院	100.0	86.3	
NDB-SCR263	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）外来	100.0	78.2	
NDB-SCR264	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）入院+外来	100.0	80.2	

最終アウトカム				
項目番号	項目名	全国	沖縄県	
がん患者とその家族が、がんにより生じた療養生活の心配や悩みなどが軽減されている				
08-F01	自分らしい日常生活を送れている患者の割合			
患者31	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	70.1%	78.3%	
08-F02	納得いく治療を選べた患者の割合			
患者6	納得いく治療選択ができた患者の割合	79.6%	79.3%	

施策を記入する
施策を記入する

がん患者やその家族等が質の高い相談支援が受けられる体制ができている				
08-M04	治療前に相談したくてもできなかった患者の割合			
	患者3	治療開始前に、病気のことや療養生活について誰かに相談できた患者の割合	76.5%	79.9%
08-M05	がん相談支援センターを知らなかった患者の割合			
	患者25	がん相談支援センターを知っている患者の割合	66.9%	74.0%
08-M06	がん相談支援センターが役に立った患者の割合			
	-	-	NA	NA
08-M07	相談できる支援があると感じた患者の割合			
	患者24	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う患者の割合	47.1%	52.6%

施策を記入する
施策を記入する

患者やその家族がピアサポートをうけることができている				
08-M08	ピアサポートを知らない患者の割合			
	患者26	ピアサポートを知っている患者の割合	27.5%	43.0%
08-M09	ピアサポートが役に立った患者の割合			
	-	-	NA	NA

がんの在宅医療

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

▼二次医療圏を選択してください（任意）

南部

施策

施策を記入する
 施策を記入する
 ・
 ・

中間アウトカム					
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部
必要な在宅医療の定位協体制と人材が整っている					
10-M01	在宅医療の医療機関の整備状況				
	医療一般70	在宅療養支援病院数（人口10万対）	11.5	1.2	1.5
	医療一般74	在宅療養支援診療所数（人口10万対）	11.3	6.3	7.3
10-M02	急変時緊急に対応できる病院の数				
	NDB-SCR ※301	在宅患者緊急入院診療加算（在宅診、在宅療養後方支援病院）入院	100.0	NA	NA
	NDB-SCR ※302	在宅患者緊急入院診療加算（連携医療機関（1以外））入院	100.0	75.1	NA
	NDB-SCR ※303	在宅患者緊急入院診療加算（1、2以外）入院	100.0	27.0	48.4
10-M03	在宅医療に関する多職種人材の整備状況				
	医療一般86	訪問看護ステーション 看護師（人：常勤換算）（人口10万対）	39.6	30.4	33.0

最終アウトカム					
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部

在宅患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している					
10-F01	痛みなく過ごせた患者の割合				
	-	-	NA	NA	NA
10-F02	在宅で亡くなったがん患者の医療者に対する満足度				
	-	-	NA	NA	NA

患者が望む場所で療養生活を送ることができている					
10-F03	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合				
	-	-	NA	NA	NA
10-F04	（参考指標）在宅死亡割合				

※印の項目はがん診療行為表に収録されていない

施策を記入する
施策を記入する

緩和を含めた在宅医療が行われている				
10-M04	在宅医療の提供量			
NDB-SCR ※304	退院支援加算 入院	100.0	134.5	155.4
NDB-SCR ※305	往診 外来	100.0	49.1	55.7
NDB-SCR ※306	緊急往診加算 外来	100.0	49.9	60.2
NDB-SCR ※307	在宅患者訪問診療料（1）1 外来	100.0	52.4	56.5
NDB-SCR ※308	在宅ターミナルケア加算 外来	100.0	68.1	77.0
NDB-SCR ※309	看取り加算（在宅患者訪問診療料・往診料） 外来	100.0	76.1	83.0
NDB-SCR ※310	死亡診断加算（在宅患者訪問診療料） 外来	100.0	42.9	29.2
10-M05	在宅がん医療の提供量 ▼項目名を選択してください（必須）			
NDB-SCR243	在がん医総（機能強化した支診等）（病床あり）（処方箋なし） 外来	100.0	NA	NA
10-M06	外来での疼痛管理薬の使用量（薬剤のNDB-SCRから）			
-	-	NA	NA	NA

※印の項目はがん診療行為表に収録されていない

全がん21	自宅死亡率（%）	13.7	12.5	12.6
全がん22	老人ホーム死亡率（%）	8.0	6.9	7.3
全がん23	自宅・老人ホーム死亡率（%）	21.7	19.4	19.9

がん患者の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ）

▼都道府県を選択してください（必須）

沖縄県

施策	中間アウトカム			
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
	仕事と治療の両立についての必要な支援を受けられている			
施策を記入する	13-M01	治療前に就労の継続について説明を受けられなかった患者の割合		
施策を記入する	患者22	治療開始前に就労の継続について医療スタッフから話があった患者の割合	38.6%	27.2%
・				
・				
・				
	13-M02	がんの治療中に職場で勤務上の配慮があった患者の割合		
	患者21	職場や仕事上の関係者から治療と仕事を両方続けられるような勤務上の配慮があったと思う患者の割合	65.1%	74.4%

施策	最終アウトカム			
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
	がんになっても自分らしく生き、働き、安心して暮らしている			
	13-F01	自分らしい生活を送れている患者の割合		
	患者31	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	70.1%	78.3%
	13-F02	治療費負担が原因で治療を変更・断念したことがある患者の割合		
	患者7	治療費用の負担が原因で、治療を変更または断念したことがある患者の割合	5.0%	4.0%

施策を記入する
施策を記入する

・
・
・

患者が社会生活に必要な支援を受けられている				
13-M03	がんによる外見上の変化に対する悩みを相談できた患者の割合			
	患者19	外見の変化に関する悩みを誰かに相談できた患者の割合	28.5%	31.6%
13-M04	生活に必要な社会制度に関する情報を十分得られた患者・家族の割合			
	患者24	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う患者の割合	47.1%	52.6%

患者が社会の一員として尊厳を持って暮らしている				
13-F03	医療費負担が生活に影響を及ぼした患者の割合			
	患者8	医療を受けるための金銭的負担が原因で生活影響があった患者の割合	27.1%	37.1%
13-F04	がんに対する偏見を感じている患者の割合			
	患者27	(家族以外の)周囲の人からがんに対する偏見を感じる患者の割合	18.3%	12.5%